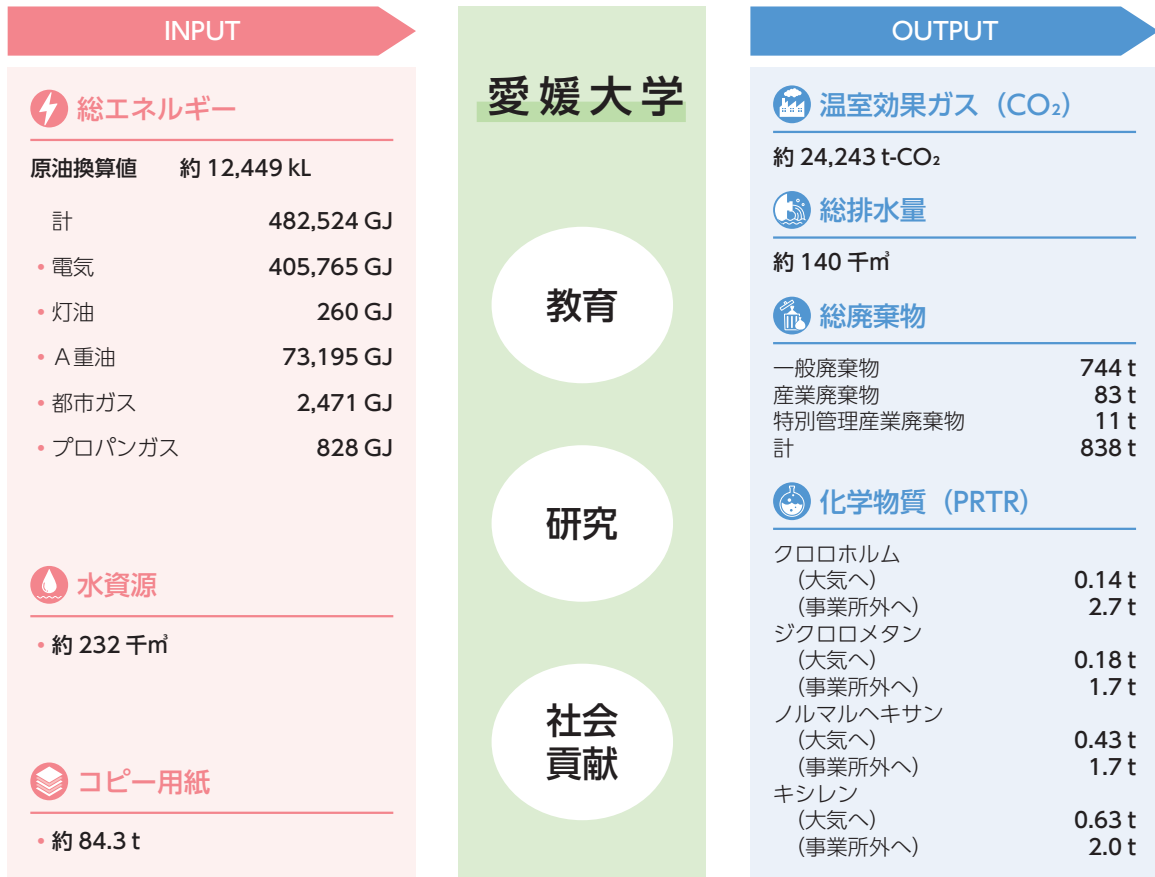




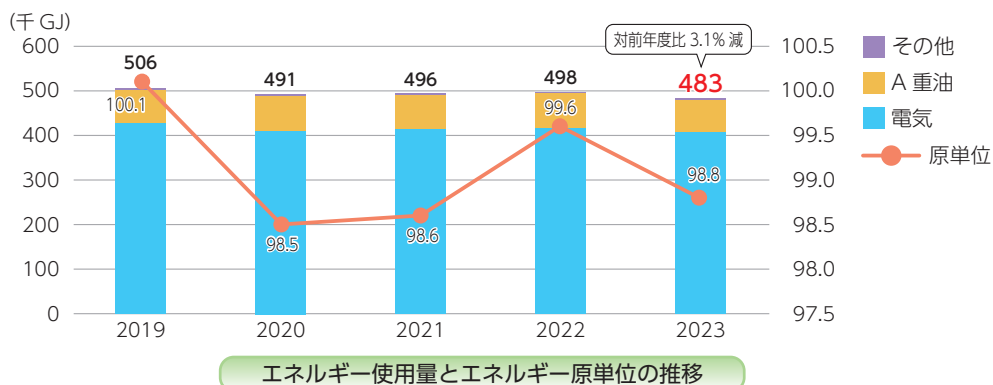
# 環境負荷低減

## マテリアルバランス

愛媛大学は教育・研究・社会貢献等の活動により生じる環境負荷を把握し、環境に与える影響を分析することでさらなる省エネルギーや温室効果ガスの低減等に取り組んでおります。その取り組みの結果、サステナブルな地域社会の構築に貢献できる大学を目指します。

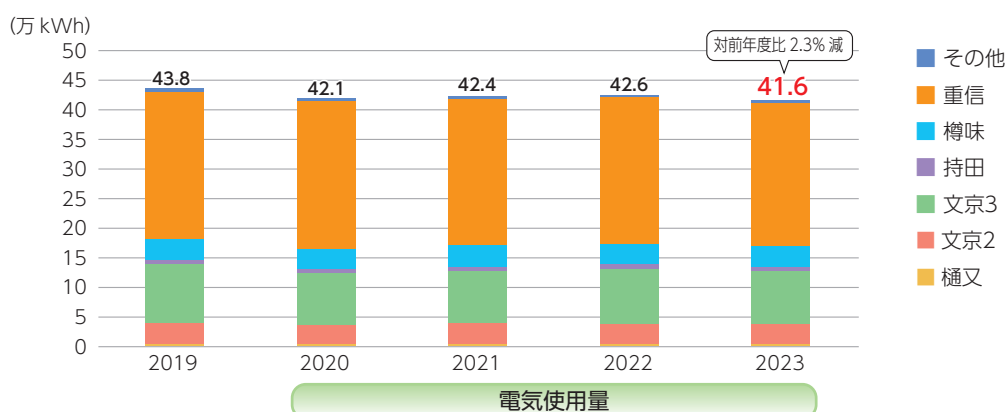


## エネルギー使用量



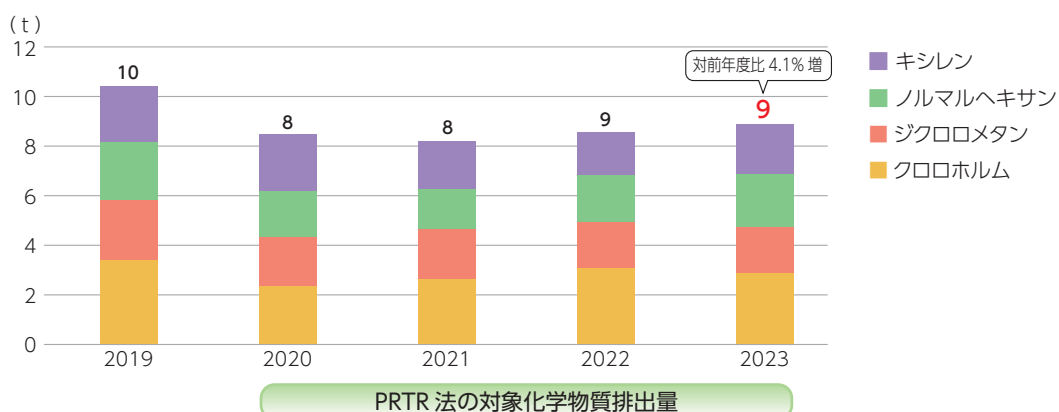
2023年度のエネルギー使用量は約483千 GJ で前年度より3.1%減となりました。また、エネルギー効率を表す値であるエネルギー原単位は前年度より0.8ポイント減となりました。

## 電気使用量



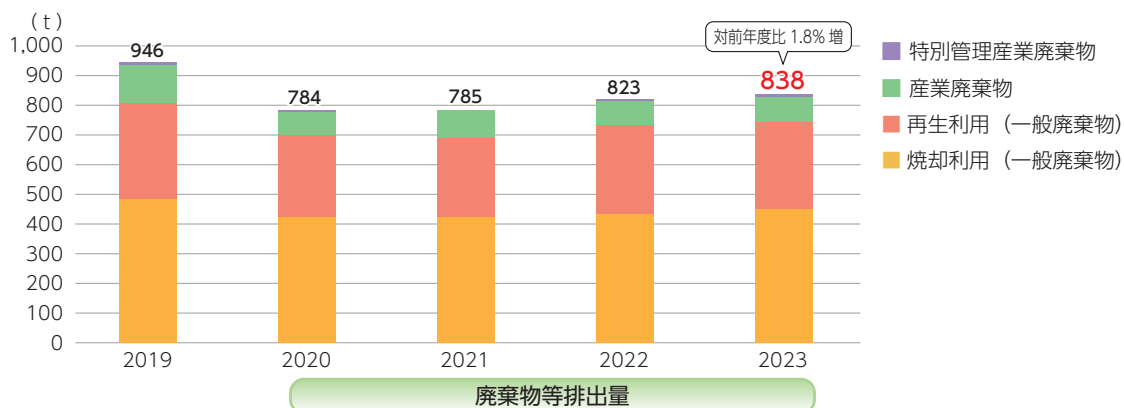
2023年度の電気使用量は約41.6万 kWh で前年度より2.3% 減となりました。

## 化学物質排出量



2023年度の排出量は約9tであり、本学におけるPRTR法の対象である化学物質はクロロホルム、ジクロロメタン、ノルマルヘキサン、キシレンです。

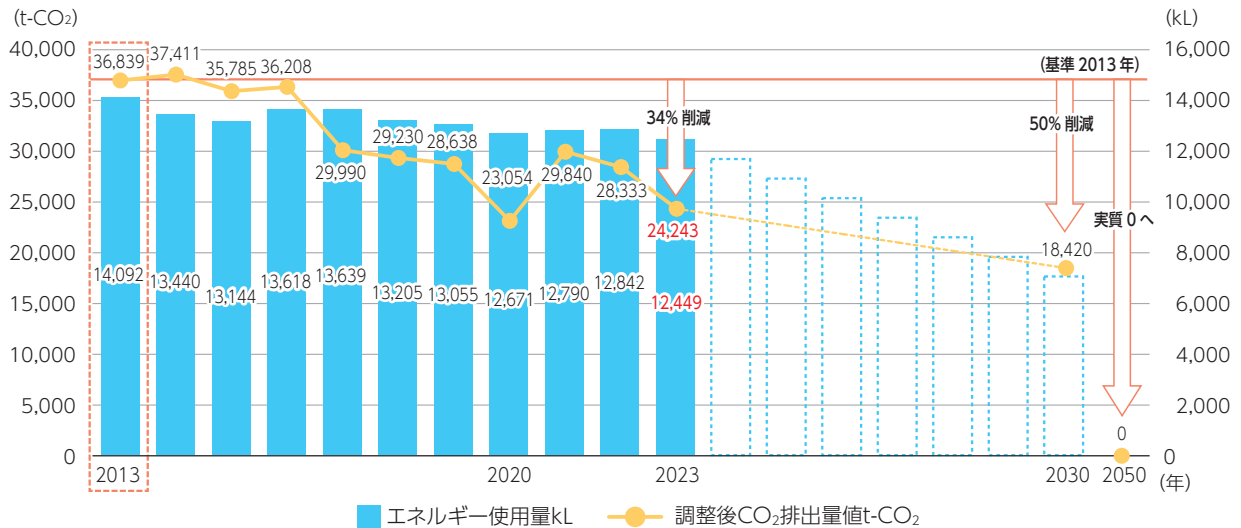
## 廃棄物等排出量



2023年度の廃棄物等排出量（一般廃棄物と産業廃棄物の総量）は、約838tで前年度より1.8%増となりました。

## 2050年カーボンニュートラルに向けて

本学は、高効率機器への更新や建物断熱化等の施設整備と日々の省エネの取り組み等によりエネルギー使用量を削減し、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを目指し、着実に推移しています。



愛媛大学全体におけるエネルギー使用に係るCO<sub>2</sub>排出量の推移表

2023年度のCO<sub>2</sub>排出量は、24,243t-CO<sub>2</sub>で2013年度より34.2%減となりました。これはエネルギー使用量の削減効果に加え、本学の電力供給事業者である四国電力(株)の排出係数が改善された影響によるものです。

また、省エネ対策工事について、主としてLED照明・高効率空調設備への更新を実施しており、現在のLED照明化率は約40%となっています。



高効率空調設備の更新



LED照明への更新